

我が県土
支え育む
希望郷



美しい 県土づくりNEWS

2019年

9月

岩手県 県土整備部
手づくり広報誌第182号
令和元年9月30日発行
編集 県土整備企画室

目次

- 2 築川ダム建設工事 堤体コンクリート打設完了！
- 3 高田松原津波復興祈念公園 主要施設がオープンしました！
- 4 下水道探検ツアーを開催しました！
- 6 道路愛護団体等への感謝状伝達式を行いました！
- 7 平成28年台風第10号「発災から3年」
復旧・復興事業の取組

三陸復興

祝！ 築川ダム堤体打設完了式

県が盛岡市川目で整備を進めている築川ダムにおいて、ダム堤体コンクリート最終打設の節目を迎えたことから、令和元年9月3日（火）に堤体打設完了式を行いました。

式には、県、盛岡市立中野小学校、工事関係者等約130人が出席し、メモリアルストーン埋納、最終コンクリート打設の後、参加者全員で万歳三唱を行い、打設完了を祝いました。



石田盛岡広域振興局長の式辞



中野小学校児童代表によるメモリアルストーン埋納



参加者全員による万歳三唱



工事関係者で記念撮影

築川ダム建設工事 堤体コンクリート打設完了!



盛岡広域振興局土木部築川ダム建設事務所

県が盛岡市川目で10番目の県営ダムとして整備を進めている築川ダムにおいて、令和元年9月3日にダム堤体コンクリートの最終打設を行いました。ダム堤体工事は平成26年12月に着手、平成29年4月1日から本格的に堤体コンクリート打設を開始、同年9月7日に定礎式を行い、途中冬期間の打設休止を挟みながら2年5か月を経て、この度の堤体打設完了となりました。

今後は、取水設備工事、管理用設備工事などを進めるとともに、来年秋には試験湛水を開始する予定としています。これからも地域の皆さんの御理解と御協力をいただきながら、令和2年度の完成を目指し、事業を進めてまいります。



平成29年4月撮影
【打設開始時】



令和元年9月撮影
【打設完了時】

打設開始から2年5ヶ月

◇◇最終打設のながれ◇◇



- ①トランスファーからバケツにコンクリートを投入
- ②「打設開始!」の合図
- ③いざコンクリートを投入
- ④黄金に輝くバイブレーターで締固めて完了!



打設完了式で埋納した中野小児童によるメモリアルストーン

【築川ダム建設事業概要】

- ◇事業目的 ①洪水調節 ②流水の正常な機能の維持 ③水道用水 ④水力発電 ◇事業期間 平成4年度から令和2年度まで(予定)
◇計画諸元 型式:コンクリート重力式 堤高:77.2m(県営2位) 堤体積:22万8千m³ 総貯水容量:1,910万m³(県営最大)

高田松原津波復興祈念公園 主要施設がオープンしました！

都市計画課

令和元年9月22日、高田松原津波復興祈念公園の主要施設である、国営追悼・祈念施設の一部、道の駅「高田松原」、東日本大震災津波伝承館が利用開始されました。利用開始に先立ち、高円宮妃殿下御臨席のもと、オープン式典が開催されました。

1 公園概要

「高田松原津波復興祈念公園」は、東日本大震災の犠牲者への追悼と鎮魂や復興への強い意志を国内外に向けて明確に示すことなどを目的とした公園として、国、岩手県及び陸前高田市が連携して整備を進めることとし、平成29年3月から公園工事が始まりました。

2 オープン式典の概要

オープン式典では、はじめに、東日本大震災によって犠牲となられた方々に追悼の意を表すため黙祷が捧げられ、続けて、主催者である国土交通大臣、岩手県知事及び陸前高田市長からの挨拶の後、高円宮妃殿下からお言葉を賜りました。その後、東日本大震災による流木等から作られた TSUNAMI ヴァイオリンを使って慰問演奏活動等を行っているヴァイオリニストの式町水晶さんと、陸前高田市立高田第一中学校の3年生 12 名による演奏・斉唱が行われました。

式典終了後には、高円宮妃殿下及び代表者による献花と記念植樹が行われました。午後には、式典に引き続き、式町水晶さんと高田第一中学校の3年生 87 名によるオープニングコンサートが開催され、被災地復興の願いを込めた演奏・合唱が披露されました。

3 オープン式典及びオープニングコンサートの様子



テープカットの様子



代表献花の様子



ヴァイオリニスト式町水晶さんによる演奏



高田第一中学校の3年生による合唱

下水道探検ツアーを開催しました！

北上川上流流域下水道事務所

9月7日（土）都南浄化センターにて下水道探検ツアー（主催：公益財団法人岩手県下水道公社、北上川上流流域下水道事務所）が開催されました。この下水道探検ツアーは「下水道の日」に合わせて、下水道に関する知識の普及啓発を目的として開催されているものです。

当日は晴天の中、岩手県各地から親子連れなど200名以上の方が訪れ、浄化センター内を見学できる「探検ツアー」や微生物観察、クイズ、おもしろ実験などを通して下水道の処理の様子や大切さについて学びました。

【当日の様子】



微生物観察
見たことのない小さな生き物に興味しんしん

PCクイズ・ゲーム
下水道に関するクイズやゲームが楽しめます。



下水道探検ツアー
（浄化センター見学）
微生物の力で濁った水がきれいに

スタンプラリー抽選
1等は顕微鏡♪何がでるかな？



おもしろ実験
汚れた水と汚れが沈殿して
きれいになった水の変化を
学びました。

下水道建設機械の操作体験
(下水道関連団体による協力)
風船をうまく割れるかな？



【来場者の感想】

- ・ 探検ツアー面白かったです。
- ・ 何回来てもしっかり水を大切にしようと思います。
- ・ 普段めったに見られないところを見れてうれしいです。
- ・ 微生物で水をきれいにするのが分かりました。
- ・ 特にショベルカーが楽しかったです。またやりたいです。
- ・ 自分の生活になくてはならない施設ですが、なかなか知ることができないのでこういった機会があると良いと思います。これからも開催してください。
- ・ 管の中を見るリモコンカーみたいのに息子が大喜びでした。

9月10日は「下水道の日」

下水道にはお風呂や台所、トイレなど家庭等から出る汚水を下水道管を通して下水処理場に集め浄化し自然に帰すほかに、雨水を速やかに流し街を浸水から守る役割があります。

1年を通して短い時間に多くの雨が降るのは、8月から10月の台風シーズンです。中でも、9月10日は立春から数えて220日目にあたり、二百二十日（にひゃくはつか）と呼ばれ、大きな台風がくるとされています。この台風シーズン中の特別な日が下水道の雨水を流すという役割と馴染みがあるということで、9月10日が「下水道の日」と決められました。

道路愛護団体等への 感謝状伝達式を行いました！

道路環境課

国土交通省では毎年、道路交通の安全、道路の正しい利用、道路愛護等に功績のあった個人又は団体に対し、感謝状を贈り表彰しています。

今年度は本県から多年にわたり道路環境の美化に功績のあった3団体が表彰され、そのうち県管理道路で活動を行っている以下2団体に対し、8月30日に盛岡市のサンセール盛岡において、八重樫県土整備部長から感謝状を伝達しました。

◆ 国土交通大臣表彰 受賞団体 ◆

◇ 八幡平市公衆衛生組合連合会安代支部（八幡平市）

当団体は昭和42年から安代地区内の道路環境の美化に取り組んでいます。昨年度の一斉清掃においては約1,510kgのごみを回収するなどの実績をあげたほか、不法投棄パトロール及び啓発活動を実施し、道路の環境悪化を未然に防ぐ活動も行っています。平成6年の岩手県知事表彰受賞後も継続して活動しています。

◇ 立花地区道路愛護会（北上市）

昭和52年から、3の行政区で構成される立花地区において、道路や川沿いのごみ拾いや草刈りなどを行っています。活動範囲内には、北上展勝地等の観光地や国指定重要文化財である毘沙門天立像等の歴史的資源があり、定期的に一斉清掃を行うことで、観光客等の散策路美化にも貢献しています。平成18年の岩手県知事表彰受賞後も継続して活動しています。



八幡平市公衆衛生組合連合会安代支部



立花地区道路愛護会

道路愛護活動に取り組まれている皆様、いつもありがとうございます！

平成 28 年台風第 10 号「発災から 3 年」 復旧・復興事業への取組

沿岸広域振興局土木部 岩泉土木センター



気象庁の統計開始後、初めて太平洋沿岸に上陸した台風第 10 号の災害から 3 年が経過しました。犠牲になられた方々に謹んで哀悼の意を表すとともに、いまだ応急仮設住宅などで不自由な生活を余儀なくされている方々をはじめ、被災者の皆さまに心からお見舞いを申し上げます。また、県内外から復旧・復興を支援してくださっている大勢の皆さまに深く感謝申し上げます。

岩泉土木センターでは、甚大な被害を受けた被災地の早期の復旧・復興のため、発災当初から、被災した河川、道路、砂防施設等の復旧・改修に取り組んできました。復旧・復興に関する現在の主な取組状況についてお知らせします。



台風第 10 号豪雨災害犠牲者追悼慰霊式
(令和元年 8 月 30 日)

■ 河川

河川関係においては、17 箇所の災害復旧事業のほか、小本川、清水川、安家川において、家屋等の浸水被害防止を目的とし、河道の拡幅、掘削や築堤等の河川改良復旧事業を進めています。

河川改良復旧事業の推進に当たっては、地域の皆さまの意見を取り入れながら河川計画の策定を進め、小本川、安家川においては、平成 29 年度から河川改修工事に着手しています。

今後、小本川では河道拡幅や築堤などの大規模な改修が本格化し、安家川では河川改修に伴う橋梁の架替え工事が予定されています。どちらも地域交通などに大きく影響を与えることから、地域と十分に調整を図りながら進めることとしています。

引き続き、関係機関等との円滑な連絡調整や工事の工程管理の徹底などの効率的・効果的な事業執行を図り、早期復旧復興に取り組んでいきます。



小本川の施工状況 (R元.5.31 乙茂地区)



安家川の施工状況 (R元.6.5 松林地区)

■ 道路

道路関係においては、国道 455 号など 141 箇所の災害復旧事業を進めてきました。(R1.9月末現在で全箇所発注済、67 箇所完成 (48%))

引き続き、安全で円滑な交通の確保のため、早期の復旧・復興に向けて取り組んでいきます。

【一般県道普代小屋線松ヶ沢地区ほか災害復旧状況】

松ヶ沢



松ヶ沢 2



一般県道普代小屋線松ヶ沢地区は、被災直後、国による啓開作業や応急対策が実施されましたが、被災箇所の道路の復旧が進み、令和元年9月20日に完成しました。

■ 砂防

砂防関係においては、土石流により人家等への被害が大きかった25箇所（災害関連緊急砂防事業11箇所、砂防激甚災害対策特別緊急事業14箇所）について、砂防堰堤の整備を進めています。

この事業は、流木による下流への被害を軽減するため、流木捕捉効果の高い透過型砂防堰堤を整備するほか、不透過型砂防堰堤においても垂直壁に流木止めを設置することとしています。

災害関連緊急砂防事業に関しては、令和元年9月までに5箇所が概成しており、今年度内に全ての箇所の概成を予定しています。また、砂防激甚災害対策特別緊急事業に関しては、今年度第3四半期以降、用地補償が完了した箇所から順次、工事着手していきます。

引き続き、地域の安心・安全を図るため、事業の推進に取り組んでいきます。



松橋の沢(5) (災害関連緊急砂防事業)



上乙茂の沢(4) (災害関連緊急砂防事業)

～沿岸広域振興局土木部岩泉土木センターへの問い合わせ先～

【TEL】0194-22-3116（道路、用地 合庁4階）

0194-22-2890（河川海岸、港湾砂防、河川復旧 合庁2階）

【E-mail】BJ0010@pref.iwate.jp



毎月、いわいずみ台風災害復興かわら版を発行しています↑↑↑